会 議 出 席 報 告

以下のとおり報告いたします。　　社会教育グループ　主査　石丸 学

日時・場所	令和７年12月19日(金)　18時30分～19時35分　追分公民館 第１研修室A
会　議　名	令和７年度第４回スポーツ推進委員会議

◆委員出席者…伊藤、小坂、石塚、藤森、榛、黒木［６名］
◆委員欠席者…鳥實、立浪、荒木、石井、宮崎、瀬田川、且見［７名］
◆教委出席者…石丸［１名］
１．開　　会
２．委員長あいさつ
３．議　　題
（１） 終了した社会体育事業及び関連事業について
胆振管内スポーツ推進委員研修会について、室蘭市にて11月15～16日に２日間で実施。小坂委員より安平町の事例発表を実施。そのほか、石井委員が管内表彰だったので、代わりに受け取り、後日12月４日に教育長室にて教育長からご本人に手渡した。
屋内子どもチャレンジ塾について、12月13日に実施。参加申込者は11名だったが、欠席連絡等もあり、当日は９名と少ない参加となった。お手伝いで来ていただいたジュニアリーダー１名、子連からの大人１名と推進委員から黒木さんに参加者側に入って貰って４名３チームを作り実施。競技ではキンボールを行う話もあったが、当日参加者に１年生が多かったこともあり、キンボールの球を使った玉転がしに変更した。
→トレーニング用マットを敷いてモルックが実施可能と分かり、内容の裾野を広げることが出来た。
→キンボールの球については、大きくて、フワフワ跳ねてで子どもには刺激が強かった。ふざけて事故に繋がったりもあり得るので、使い終わったらすぐに空気を抜くなど気をつけた運用が必要と感じた。
→今までは、ここまで少人数になることがなかったので、気にしていなかったが、10名とか12名とか最低催行人数を設けた方が良いと感じた。一桁参加者での実施は難しい。
→競技内容の決定について、やはり事前の会議の場で決めることができたら良いなと思った。
今後は最低催行人数を設けるようにする。仮に12名とすると、今回は中止となっていたことになってしまう。また、競技内容は、前回会議で決めようとしたときに人数の大枠が決まらないと決められないという話で会議外の場で決めることになった経緯がある。
今後は子どもチャレンジ塾の最低催行人数を10名とし、それを想定した上で会議の場内で実施内容も決めるようにすることで決定。

（２） 今後の社会体育事業及び関連事業について
２月の子どもチャレンジ塾について、2月７日に決定。なお、例年であれば午後には子連事業が実施されていたが、今年度は夏の事業で予算を多く使ってしまったこともあり、２月の事業は実施しないそうだが、子どもチャレンジ塾への手伝いは例年通りしてくださるとの事。
前回会議で内容はアイスゲットで決まっていたので、アイスリンクを既に予約済み。12月が早来開催だったので、追分開催で昨年のようにスキー場を使って、綱引き等を行うこともありかなと思うが変更なしで良かったか？会議のタイミング的にここで確定させないといけない。
→子連の関係承知。内容はアイスゲットで良い。
アイスゲット大会については、ギャロップ少年団の事業や卒園式などの各種行事を避け３月15日で決定。アイスリンクも既に予約済み。キーパー用のヘルメットも小さいものしかなかったので、今回複数個購入済み。昨年は参加チームが非常に少なかったが、今年度は事務局の方でロビー活動を行い、既に５チームほど参加者が見込める。また、ネット周知等のほか、ポスターも作成したいと思う。フォームによるインターネット申込みも受付け、ポスターにもリンクコード記載する予定。掲示場所は公民館や道の駅、スポーツセンター等を想定。
チーム６名のうち女性２名以上を含めなければいけないというのがネックになっているという声もあ

る。事務局からの提案として、男女比が2:1や1:2であれば１点加算、1:1だったら２点加算のようなボーナスを設けて、男女混成を促しつつも、必須としないような仕組みにしたい。また、要項なども古い記載や不要な文言などがずっと残っていたりしたので、修正したものを案として作成した。日時なども今年度の実施日に直し、それに基づく申込期限にしている。トーナメント表の作成やタイムスケジュールの決定などがあるので、開催日に対して、少し早めの期限で設定した。その分周知は年明けすぐにでもと思っている。

→単純に女性２名以上を廃止してしまうだけで良いかなと思う。まずは、それで参加構成がどうなるかを見て、次回判断でも良いかもしれない。

→チームの男女比を審判が常に見ておかなければいけないところが運営上難しい気がする。

→このルールを設ける意義を記載しても良いかもしれない。

→チーム編成をどうするかという戦略がひとつ増えて、ゲームとして面白いかもしれない。

まずは、今年度は事務局案でやってみることで決定。得点加算の特別ルールの記載内容は、簡潔でより正確になるよう改める。運営については、開始前に得点加算獲得の意思を確認するのと元のルールにある「自由に交代する事ができるが、必ず審判に報告しなければならない」を徹底して貰うようにすることで整理。

（３）出前講座について

12月11日に早来学園担当の中谷先と打ち合わせし、１月27（９年・８年）、30日（９年・７年）、２月12（８年・７年）、16日（予備）で時間は８時40分～10時、10時35分～12時６コマで実施したいとの事。平日で難しいかもしれないが、推進委員の皆さんにご協力いただきたい。

→会議参加者の中で１月27、30日に出席可能者なし。各コマにつき、出来れば１名の出席をお願いしたい。この件については、改めて推進委員全体に周知する。

（４）その他

費用弁償について、今までは新任委員のタイミングの事務局担当者の方で距離算定をしており、町の基準と若干ずれていた。来年度以降別紙記載のとおり町の基準に統一し支給するように変更したい。人によって若干の増減が発生するが、ご了承いただきたい。

また、予算上になるが、過去の執行残を鑑みて、来年度は回数が４回分に減ることとなった。実際の会議開催回数としては今年度同様６回実施したいと思うが、予算上は全員参加で４回分の予算となる。仮に出席率が高くなれば予算不足に陥る可能性はあるが、補正対応し、皆さまにはご迷惑をかけないようにしたい。

→承知した。会議出席率については、教育委員会の方でのそもそもの選定に責任があるのではないかと思う。元から説明をしっかりし、ちゃんと会議に出られる方を選定すべきである。

前回会議で、町民登山の代替としてSUP（スタンドアップパドルボート）体験を事業案とすることで決定し、ボードは榛委員の方で所属している団体のものをある程度用意できるので、不足分のレンタル料を予算計上することで話をしていたが、結果として、予算をとることが出来なかった。町民登山と比較したときに費用がかかること、登山のように幅広い世代の参加を促せるかについて疑問視などがあった。まずは登山としおいて、来年の情勢を見ながら改めて実施事業について議論をしたいと思う。

→とりあえず承知するが、推進委員の会議の場で考え、決まったことなのにそうなってしまうのであれば、ここで検討する意味を見いだせなくなってしまうということを考えて欲しい。

担当者として、内部での理解を得られるような進め方、説得が出来なかった。この度は力量不足でご迷惑をかけてしまった。

続いて、予定表について、別紙のとおり道や管内会議を来年度の開催日・開催場所で更新している。町の会議についても次回１月開催の会議あたりで案を提示したいと思っている。

最後に、今年度の前半で皆さんから意見もいただいが　、現在も追分プール、スキー場、屋外リンクの廃止議論がされている。仮に廃止となったときの町民の体力づくりのきっかけなど、推進委員の立場でどんなことが出来るか次回会議でアイディアいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

■次回の会議予定

［日時］１月28日（水）18:30～

［会場］早来公民館　会議室１

終了［19:35］